

『禅の里』づくり瓦版

vol. 1

～大本山永平寺と門前町が協力してまちづくりを進めます～

『禅の里』づくりは、文化庁の「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の採択を受け、平成23年9月より始めました。

『禅の里』づくりは、大本山永平寺と門前町の賑わいを取り戻し、多くの来訪者に何度でも訪れてもらえるようなまちをめざして、大本山永平寺と門前町が協力してまちづくりを進めていくものです。

平成23年9月12日（月）に開催された第1回『禅の里』づくり実行委員会では、委員会立ち上げに至る経緯の報告とともに、他都市のまちづくりの事例紹介をしました。他都市の事例を踏まえ、壮年部の方々からは、永平寺らしさ、門前町らしさをもって、小さくともコツコツとまちづくりを進めていきたいとの心強いご意見をいただきました。

また、10月30日には、第2回『禅の里』づくり実行委員会が開催され、10月13日に開催された事務局会で検討した内容について議論を行いました。

今年度は、大学の先生や学生さんなどにも協力いただきながら具体的なまちづくりの検討を進めるとともに、2月には今年度の成果を発表する講演会も企画しております。

永平寺門前町にお住まいの方にもご協力いただきながら皆さんで賑わいのあるまちづくりを進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

『禅の里』づくり事務局会の様子



『禅の里』づくり実行委員会の様子



今後の予定

- 11月29日 : 先進事例視察
- 11月下旬 : 学生ワークショップ（意見交換会）
- 12月初旬 : 第2回事務局会議
- 12月中旬 : 第3回『禅の里』づくり委員会
- 1月中旬 : 第3回事務局会議
- 2月初旬 : 第4回『禅の里』づくり委員会
- 2月中旬 : 『禅の里』づくり講演会

第2回『禅の里』づくり実行委員会で話し合ったこと

1. 視察について

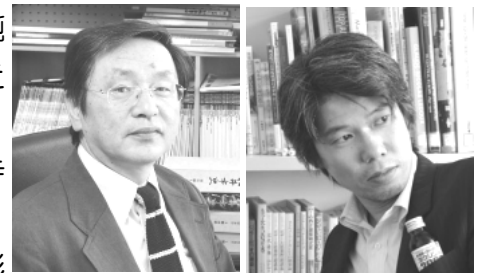
- 11月29日（火）におかげ横丁・おはらい横丁への視察を実施することが決定しました。
- 視察については、実行委員会だけでなく、地域住民皆さんへ募集をすることとなりました。（視察の詳しい内容、募集要項は下記を参照下さい）



おかげ横丁

2. 大学・学生との連携のあり方

- 大学・学生との連携については、福井工業大学の吉田 純一 教授、下川 勇 准教授とその学生の方々にご協力いただくこととなりました。
- 吉田 純一 教授は、福井県内の社寺、城郭、住宅や永平寺大工の活動などを調査研究されています。
- 下川 勇 准教授は、地域活性化に関する研究や都市景観形成に関する研究をされています。



吉田 純一 教授 下川 勇 准教授

3. 永平寺の強み・弱みは何か？

<永平寺・門前町の良いところ>

- 修行道場として変わらない永平寺
- 歴史があり、自然豊かな永平寺
- 龍門前のもみじの紅葉や永平寺川などのすばらしい自然環境
- 永平寺大伽藍を見おろす愛宕山

<永平寺・門前町の抱えている課題>

- 永平寺と門前の関係が弱い
- 呼び込みマナーが問題
- 食・土産など店の独自性が不足
- リピーター（再訪問者）づくりが必要
- 永平寺への足の確保や周遊性が必要

良いところを伸ばし、抱えている問題を解決するため、できるところから少しずつでも取り組んでいくことが重要

先進事例視察の募集について

日 時：平成23年11月29日（火）7:00 永平寺出発、20:15 永平寺戻りの予定です。

場 所：伊勢おかげ横丁・おはらい横丁の視察と（有）伊勢福祉長との懇談会

募集人数：25名

費 用：1万円（交通費、昼食代含む）

申し込み先：『禅の里』づくり事務局会（奥村） FAX:63-3313

締 切 日：11月18日（金）までに上記へ直接又はFAXにてお申し込み下さい。

なお、募集人数に達した時点で締め切りさせていただきます。ご了承下さい。